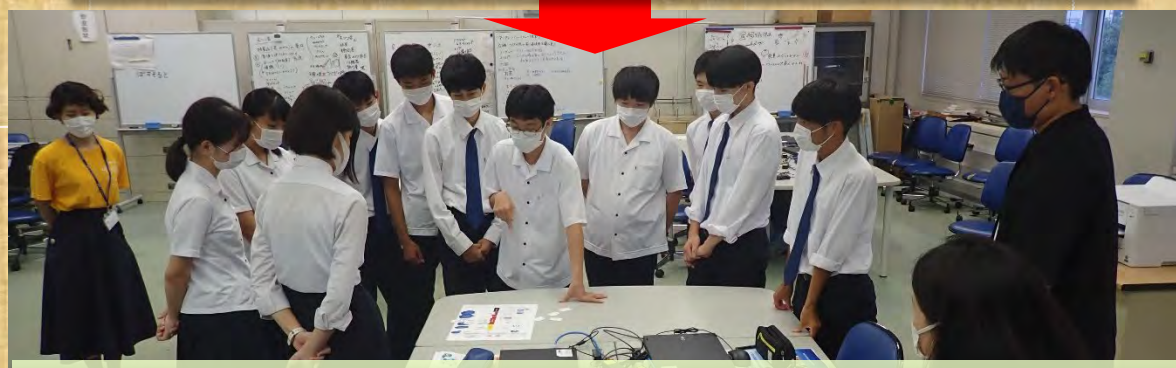


## 水防災教育学生サポーター 制度の取り組み

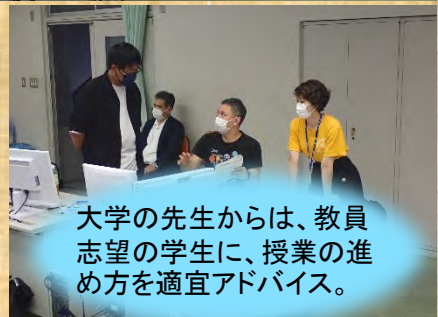
9月7日(水) 静岡市の駿河総合高校において、「水防災教育 学生サポーター制度」の取り組みを実施。この取り組みは、静岡大学との連携によって行われています。教員志望の大学生が、学校の水防災教育授業において、教員に代わって講義をする事で、教員のサポートを行う制度です。大学側としては学生に教育現場を経験する機会の提供ができ、授業を行う学校側としては水防災教育授業を行う教員の負担軽減につながるという仕組みです。



グループに分かれ、マイタイムラインを作成。作成後は、他グループの気づきも共有します。



駿河総合高校では、この日集まった有志の生徒たちが、後日支援学校の生徒さんも交えた水防災授業を実施します。支援を必要とされる方と共に考える水防災教育の取り組みにより、さらなる水防災意識社会の構築が期待できます。



高校の先生も、後ろで講義を聴きます。

大学の先生からは、教員志望の学生に、授業の進め方を適宜アドバイス。